

講演と映画の会への「招待」

今回は酒井眼科の酒井隆介（さかいりゅうすけ）先生が網膜の二つの病気についてお話いたします。

目をカメラにたとえると、水晶体はレンズの役目をしており、目の奥にある網膜はフィルムの働きをしています。水晶体がにごると白内障になりますが、網膜にはさまざまな病気があります。今回は網膜に生じる二つの大きな病気に焦点を当てました。

ひとつは「網膜剥離」です。網膜剥離は網膜の端にできた裂け目や穴が原因で起きる病気であり、入院手術が必要です。

ふたつめは近年、新聞やテレビなどで耳にすることが多くなっている「加齢黄斑変性」です。加齢黄斑変性はものを詳細に見分けたり、文字を読んだりするのにとても大切な網膜の真ん中が傷む病気です。

今回は網膜剥離と加齢黄斑変性について、それらの症状から予防法や最新治療まで、絵や写真を多く取り入れてわかりやすくお話いたします。

なお、講演終了後は寅さんの映画を上映します。
ご近所の方お誘い合わせの上、多数ご来場をお待ちしています。



講演 「目の病気のやさしいお話」

～ 網膜剥離と加齢黄斑変性について ～

講師 酒井眼科

院長 酒井隆介先生

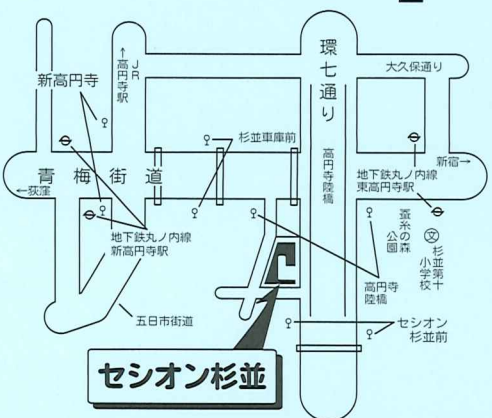
映画 「男はつらいよ ～寅次郎頑張れ！～」

日時 平成二十九年三月一日（水）

午後一時三十分から四時三十分

場所 セシオン杉並（梅里一丁目二二～二二二）

入場無料



主催 杉並区医師会

後援 杉並区

杉並区阿佐谷南三丁目四十八番八
電話 三三九二一四一四